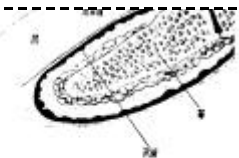
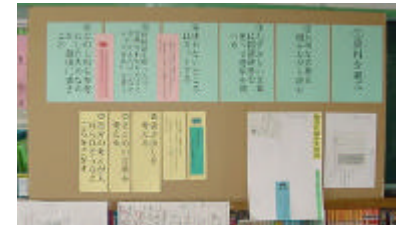



単元の流れ	学習活動()と指導上の留意点()	基礎的・基本的な内容
<p>第2次 (5時間)</p> <p>体について疑問に思うことを資料を読んで調べたり、考えたりしながら工夫してまとめる。</p>	<p>ほかの仕組みも調べてみんなに紹介しよう</p> <p>7 「ほかにはどんな仕組みがあるのかな」 用意した資料から自分の調べていく課題を選択する。 今までの学習を振り返り自分に合った学習コースを選択する。 各コースのまとめ方について見通しがもてるように説明する。 (オリエンテーション)</p> <p>各コースに合った参考資料を用意する。</p> <p>グループ分けの観点：教師 読 文章全体を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読んでいる。 言 文と文との意味のつながりを考えながら指示語や接続語を使う。 言 表現したり理解したりするために必要な語句について、辞書を利用して調べる方法を理解している。</p> <p>グループ分けの観点：児童 ふりかえりカード・オリエンテーションから考える。 自分に合ったまとめ方を選択する。(相談)</p> <p>8 9 10 11 「調べてまとめてみよう」</p> <p>短作文A コース</p> <p>自分でいくつかの課題を決める。 細かい支援を受けながら先生と一緒にまとめていく。 はじめは、教師と一緒に取り組みやすい資料と一緒にまとめていくようにする。 まとめ方に慣れてきた児童から一人で学習を進めるコースへ移行できるように支援する。</p> <p>短作文B コース</p> <p>自分でいくつかの課題を決める。 支援を受けながら課題を決める。 まとめ方の順番に沿って自分で進められるように支援する。</p> <p>説明文コース</p> <p>自分で課題を1つ決める。 自分で説明文(教科書の続編)にまとめていく。 後で清書しやすくするために、資料に書き出しやまとめを含めて、細かく書き込むように助言する。 意味のまとまりに目を向けさせ、説明する順序について考えていけるように支援する。</p>	<p>関 今までの学習を生かしながら次の学習に進んで取り組んでいこうとする態度</p> <p>「読むこと」で学んだ力を「書くこと」で繰り返し、定着を図る。</p> <p>関 体を守る仕組みの「読むこと」で学んだことを進んで使おうとする態度</p> <p>書 自分に合った課題の選択</p> <p>言 自分の課題の中心を明確にして段落の続き方に注意して書く技能</p> <p>書 「体を守る仕組み」について調べた内容が読み手に分かりやすく伝わるように工夫して書く技能</p> <p>接続語メニューや、学習の進め方などを常掲し、参考にしたり確認したりできるように配慮する。</p> <p>言 文と文との意味のつながりを考えながら指示語や接続語を使う技能</p> <p>児童の実態に応じてヒントカードを活用する。</p> <p>言 表現したり理解したりするために必要な語句について辞書を利用して調べる方法の理解</p> <p>まとめ方のモデルを掲示し、いつでも参考にできるようにしておく。</p> <p>言 書こうとすることについて、引用部分をはっきりさせて書く技能</p> <p>書 習った漢字を文章の中で正しく使う技能</p> <p>書 句読点を適切に打ち、必要な箇所は行を改めて書く技能</p> <p>総括的に評価し学習内容の定着状況を把握する。</p>
<p>第3次 (2時間)</p> <p>出来上がった自分の作品を通して今までの学習を振り返る。</p>	<p>12 13 「みんなどんなことを調べたのかな」</p> <p>自分たちのまとめたものをみんなで見合い感想を書いたカードを交換する。 今までの学習を振り返ってまとめの評価をする。 自分のまとめてきた作品を通して今までの学習を振り返り、達成感がもてるように、感想の交流の場を工夫する。</p>	<p>関 学んだことを自分の生活に生かしていこうとする態度</p>

本単元での主たる評価規準	指導上の工夫・児童の様子など		
<p>関 今までの学習を生かしながら次の学習に進んで取り組んでいこうとしている。</p> <p>自作参考資料 教師が各コースに合わせた資料を作成し、児童が課題を選択して学習に取り組む。</p>	<p>大百科A B し料 (参考)</p> <p>まぶた 「まぶた」は、目を守るために、まぶたを閉じることで、目の表面についたほこりや目玉の成分がこぼれ落ちないように、まぶたが目の前に突然現れた時、まぶたはすぐには閉じられず、守られる</p>	 <p>人の体の表面は、一面に毛が生えていて、毛の生えていないところを「裸」といいます。裸の皮膚は、乾燥しやすいため、乾燥を防ぐために、皮膚の表面には、皮脂腺という皮脂を出す腺があります。皮脂は、皮膚の表面を覆って、乾燥を防ぎます。</p>	

<p>読 自分にあった課題を選択している。</p> <p>書 「体を守る仕組み」について調べた内容が読み手に分かりやすく伝わるように、工夫して書いている。</p>	 <p>学習の進め方 学習の進め方を確認できるようにその手順を常掲した。児童は自分の進度に合わせて確認しながら進めていた。</p>	 <p>接続語メニュー 「読むこと」の学習の中で学んだ接続語を振り返って選べるようにまとめて掲示した。児童が新たに使った接続語も追加した。</p>
---	--	---

<p>自分にあった学習コースを選択</p> <p>短作文 コース(作品例) 形式段落の分け方や接続語の選び方、学習の進め方など細かな教師の支援を受けながら課題をまとめている。</p> <p>短作文 コース(作品例) 学習の進め方を掲示板で確認しながら課題をまとめている。辞書で調べた語句が文章の中に無理なくつなげられるように工夫している。</p>	<p>まぶた 「まぶた」は、目をまもるためのふたの役割をしています。</p> <p>まぶたを閉じることで、まぶたがほんの少しずつ出てきて、目の表面についたほこりをふきとります。</p> <p>また目に大きいゴミが入ったときは、まぶたが閉じると、まぶたの裏側には、涙腺という涙を出す腺があります。涙は、目を潤かす役割があります。</p> <p>まぶたは、目をまもるためのふたの役割をしています。</p> <p>まぶたを閉じることで、まぶたがほんの少しずつ出てきて、目の表面についたほこりをふきとります。</p> <p>また目に大きいゴミが入ったときは、まぶたが閉じると、まぶたの裏側には、涙腺という涙を出す腺があります。涙は、目を潤かす役割があります。</p>
---	---

<p>説明文コース (作品例) 長文の参考資料の段落の順番を、自分の表現したい順に並び替えたり、文末、文頭に自分の考えを織り交ぜたりしながら工夫して課題をまとめている。</p>	<p>爪ってなんだろう みなさんは、爪の仕組みを知っていますか。体の中でとても大切な爪。そして、だれの体にもある爪の仕組みについて説明しましょう。</p> <p>爪は火などをつけても爪そのものは熱さを感じません。しかし、爪の下じきになっている「爪床」が熱さ、つめたさ、いたさなどを感じるのです。ですから、爪を切りすぎたか、爪の下の「爪床」が腐っているからでしょう。爪の下には「機械」がつまっています。</p> <p>そして「爪床」には、とてもたくさん血がながれているのです。</p> <p>だから、爪の下はピンク色になっているのです。このようにきれいな爪は、健康のしるしなんです。</p> <p>そして爪は、体が病気になることで、爪の形がへたってくるのです。食生活が悪いと、爪の形がへたってしまうこともあります。</p> <p>そして、鉄分、という物が足りなくなると、爪の下の色も悪くなったり、血の流れが悪くなると爪の下の色も悪くなったりしてしまいます。</p> <p>また、爪は体のような悪さを表すだけでなく、手や指を守ってくれたり、ものをひっかく道具になったりするので、みなさんは、爪のことがいろいろ分かりましたか？ただでもらえるものでもこんなに大切に扱っているものなんだなと、おぼろげに思っています。</p> <p>(参考) 体というふしぎな「機械」</p>
--	--

<p>関 学んだことを自分の生活に生かしていこうとする。</p> <p>総括的な評価 形成性評価、ペーパーテストの評価をまとめて評価する</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">教師の所見 (下線..大百科をAと判定した規準)</th> <th colspan="6">関・意・態 形成性評価</th> <th>判</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>「それだけなく必要ないところを選んでカットでき</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>「爪ってなんだろう...」「しかし」「ですから」「だから」「このように」「そして」「また」ヒントカードを参考に書き出しとまとめた部分工夫している。爪の役割について自分の感想を取り入れる工夫もしている。段落を入れ替え自分の書きやすい順序にまとめている。</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>B</td> </tr> </table>	教師の所見 (下線..大百科をAと判定した規準)		関・意・態 形成性評価						判	A	「それだけなく必要ないところを選んでカットでき	B	B	B	B	B	B	B	A	「爪ってなんだろう...」「しかし」「ですから」「だから」「このように」「そして」「また」ヒントカードを参考に書き出しとまとめた部分工夫している。爪の役割について自分の感想を取り入れる工夫もしている。段落を入れ替え自分の書きやすい順序にまとめている。	B	B	B	B	A	A	B
教師の所見 (下線..大百科をAと判定した規準)		関・意・態 形成性評価						判																				
A	「それだけなく必要ないところを選んでカットでき	B	B	B	B	B	B	B																				
A	「爪ってなんだろう...」「しかし」「ですから」「だから」「このように」「そして」「また」ヒントカードを参考に書き出しとまとめた部分工夫している。爪の役割について自分の感想を取り入れる工夫もしている。段落を入れ替え自分の書きやすい順序にまとめている。	B	B	B	B	A	A	B																				